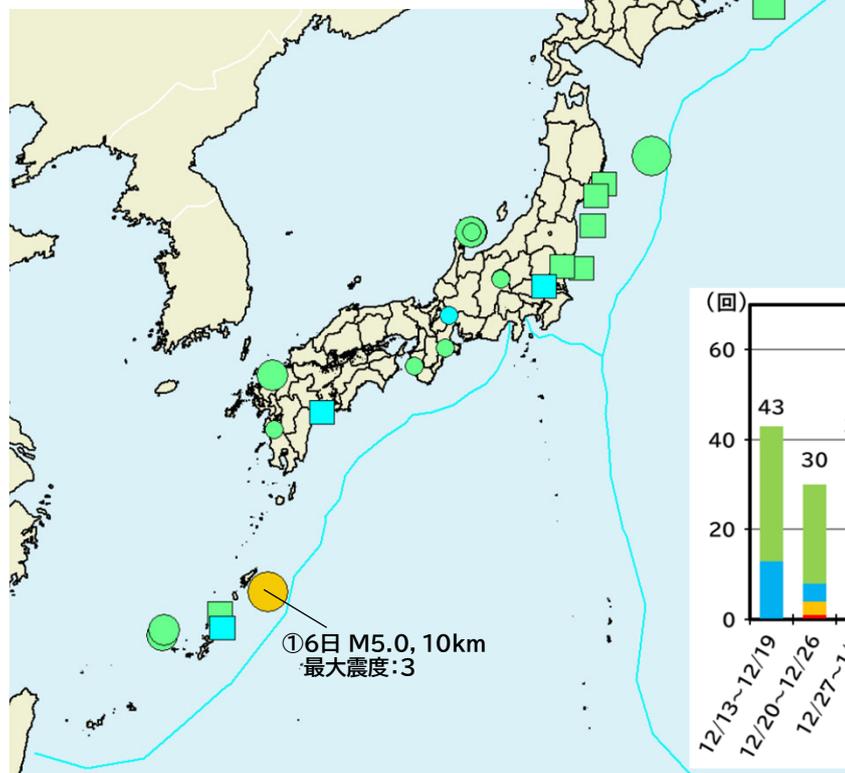


この期間の最大震度は3 (今週金曜日は東日本大震災から11年)

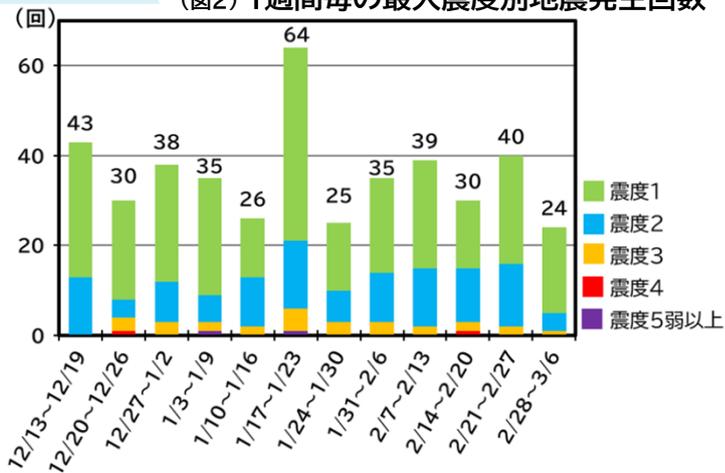
本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

(図1) 期間内に発生した震度1以上の地震
(最大震度を主眼とした表示をしています)



最大震度	マグニチュード	深さ (km)
震度5弱以上	7.0	0
震度4	5.0	30
震度3	3.0	90
震度2		
震度1		

(図2) 1週間毎の最大震度別地震発生回数



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が24回発生。最大震度は3。 ■
- ①6日10時13分に奄美大島近海で発生した地震(M5.0、深さ10km:速報値)により、鹿児島県喜界町で震度3を観測したほか、奄美市など奄美群島内で震度2~1を観測。この付近の近年の活動としては1995(H7)年10月に震度5を2回(M6.7とM6.9)観測し建物被害や津波が発生する活動があった。

トピックス

図3:2011年3月以降に発生した地震(M≥2.0) →
右上)震央分布図
右下)岩手県沖、宮城県沖、福島県沖、茨城県沖それぞれ地震発生回数の年毎の回数変化。

- 東日本大震災から11年 ■
- ・今週、金曜日の11日は、東日本大震災が発生してから11年になります。
- ・最近の地震発生状況を調べて見ました。以下のことが言えるようです(図3参照)。
- ・もともと地震活動が活発な岩手県沖~茨城県沖にかけての地震活動は、東日本大震災の影響で更に活発となったが、時間経過と共に地震発生数は少なくなっている(図3下)。
- ・しかし、東日本大震災より前の5年間と比べると、それより多い状況が続いている。
- ・このなかで、2016年と2021年に福島県沖で多くなっているが、これらはM7.4(最大震度5弱)とM7.3(最大震度6強)が発生したことに伴う余震の影響。
- ・このように、これからも一時的に増えることはあっても、全体的には少なくなっていくものと考えられます。
- ・地震は地下で岩盤が破壊されるもので、破壊された周辺では、力のつりあいの状態が不安定になり、それを解消するために、余震の発生が続くと考えられており、東日本大震災のような巨大な規模の地震の場合だと、この地下の力のつりあいの不安定を解消するまでに相当な時間がかかるので、10年20年あるいはそれ以上、影響を受け続けることになります。
- ・東日本大震災の影響により活発化した地震活動は、年毎に少なくなっていくが、岩手県沖~茨城県沖にかけては、もともと地震活動が活発な地域です。これ以外の日本中どこでも被害を伴うような地震発生可能性がありますので、大きな地震が発生した場合の避難先や避難行動などを家族で日頃から話し合っておくなどの地震への事前の備えが被害を少なくします。

